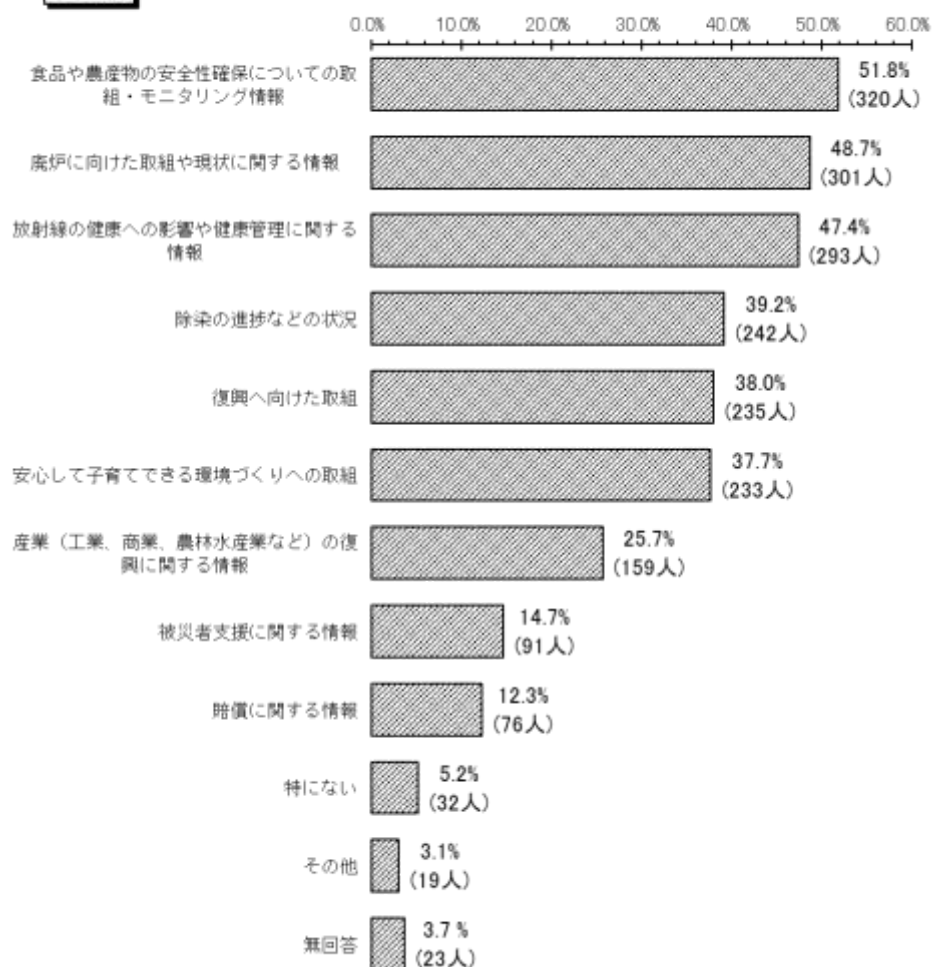


# 1. 復興等に関する情報発信について

## (1) 震災・原発事故や復興について知りたい情報

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。  
あてはまるものはいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

全体  
(n=618)

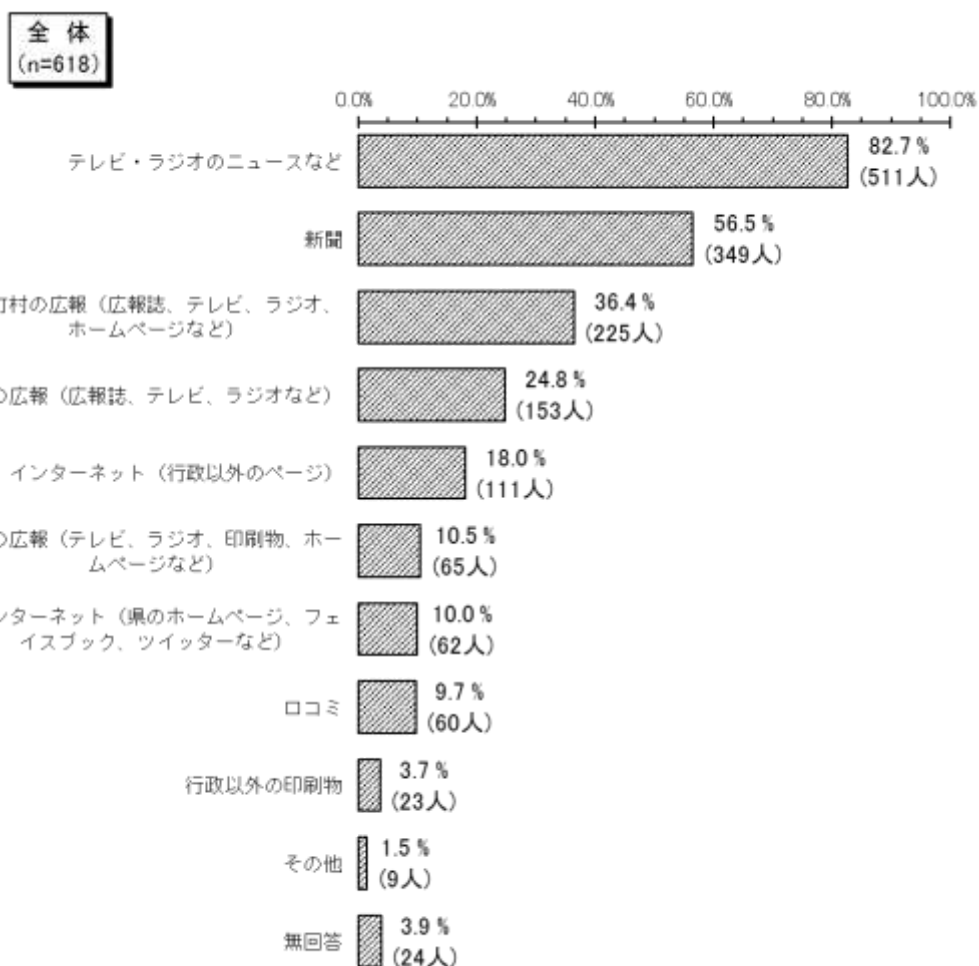


震災・原発事故や復興について知りたい情報は、「食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報」(51.8%)が最も多く約5割、次いで、「廃炉に向けた取組や現状に関する情報」(48.7%)と「放射線の健康への影響や健康管理に関する情報」(47.4%)が4割台となっている。以下、「除染の進捗などの状況」(39.2%)、「復興へ向けた取組」(38.0%)と「安心して子育てできる環境づくりへの取組」(37.7%)が3割台、「産業(工業、商業、農林水産業など)の復興に関する情報」(25.7%)が2割台で続いている。

## (2) 復興状況や新しい取り組みに関する情報の入手先

問2 本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については主に何で入手していますか。

あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。(複数回答可)

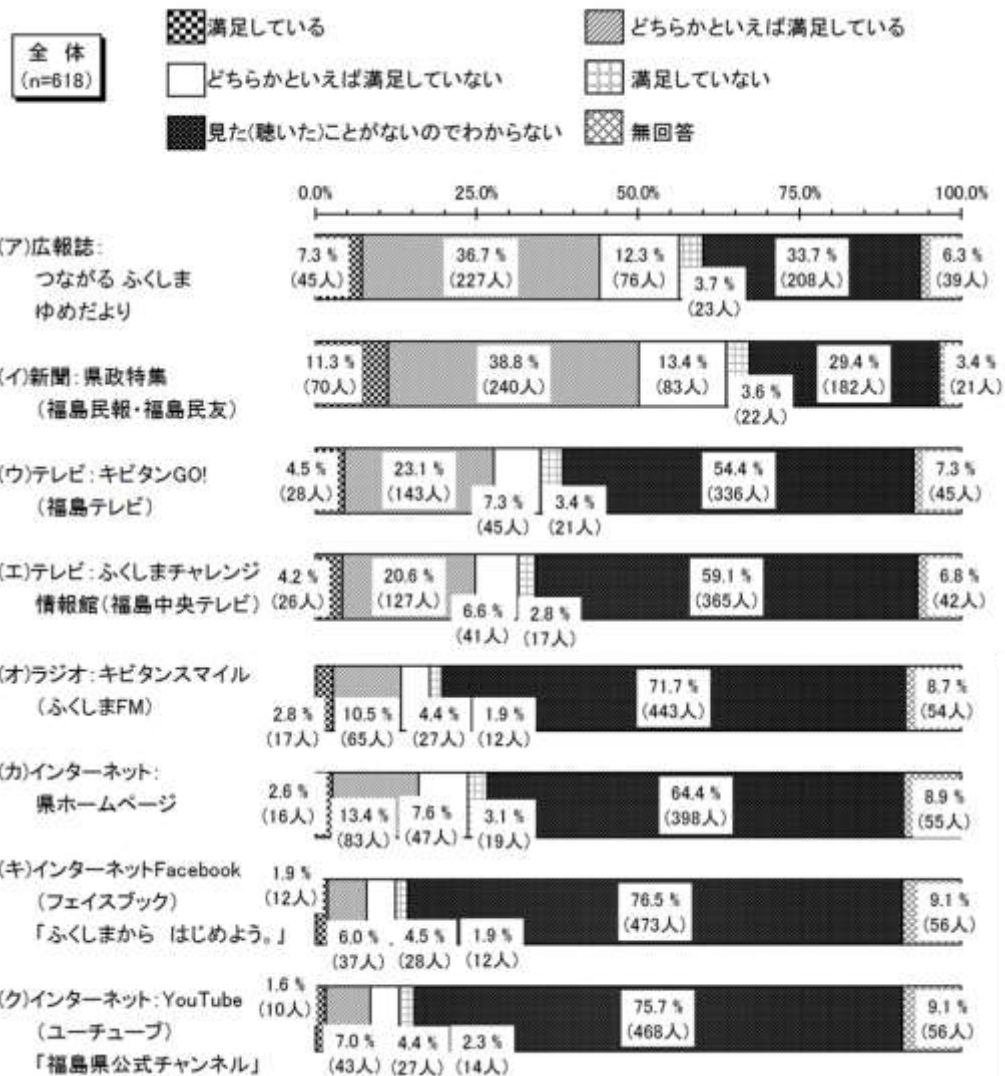


復興の状況や新しい取り組みに関する情報の入手先は、「テレビ・ラジオのニュースなど」(82.7%)が最も多く、約8割となっている。以下、「新聞」(56.5%)が5割台、「市町村の広報(広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど)」(36.4%)が3割台、「県の広報(広報誌、テレビ、ラジオなど)」(24.8%)が2割台、「インターネット(行政以外のページ)」(18.0%)、「国の広報(テレビ、ラジオ、印刷物、ホームページなど)」(10.5%)と「インターネット(県のホームページ、フェイスブック、ツイッターなど)」(10.0%)が1割台となっている。

### (3) 県の広報活動の満足度

問3 あなたは、県の広報活動に満足していますか。

(ア)～(ク)について、それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。



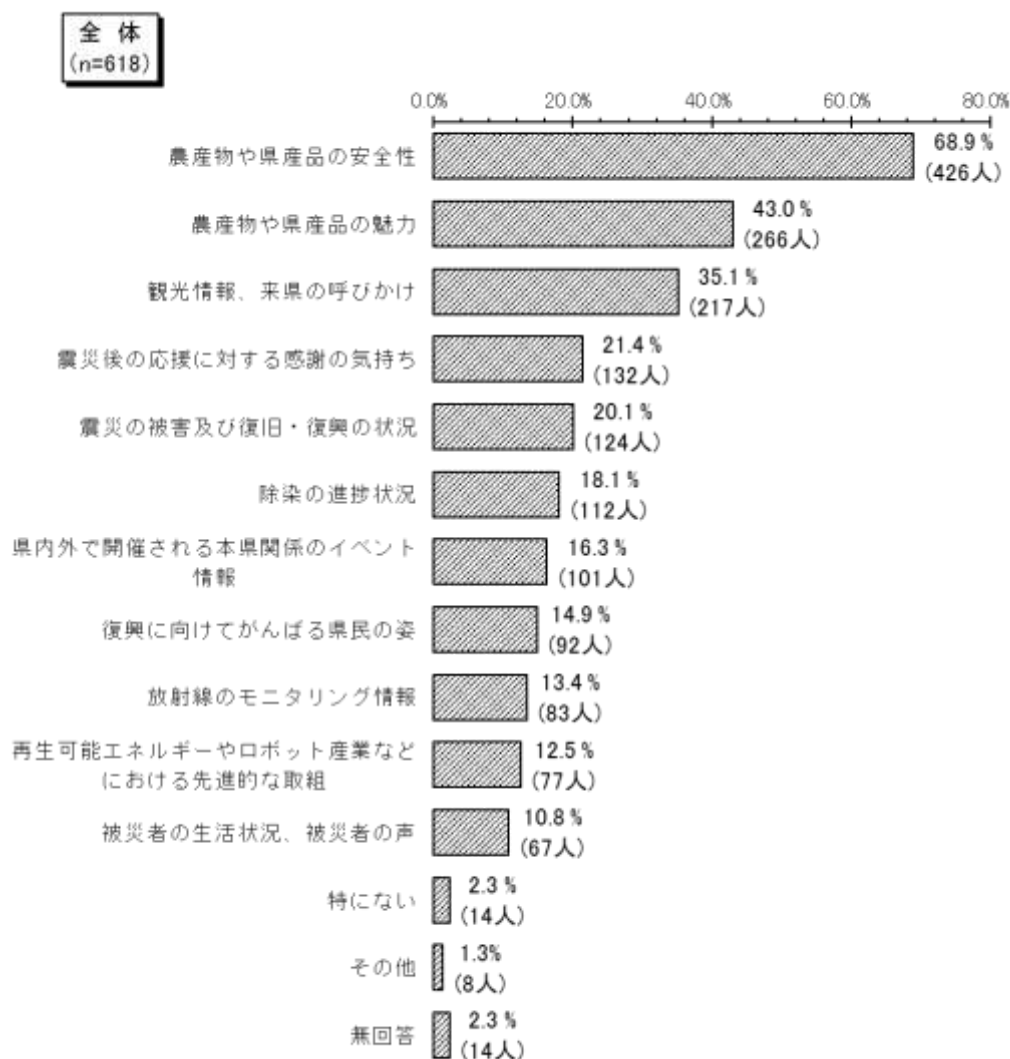
県の広報活動に「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足している』計の割合をみると、〈新聞『県政特集（福島民報・福島民友）』〉（50.2%）が最も多く、約5割となっている。以下、〈広報誌『つながる 福島 ゆめだより』〉（44.0%）が4割台、〈テレビ『キビタン GO!（福島テレビ：毎週水曜日 20:54～20:58）』〉（27.7%）、〈テレビ『ふくしまチャレンジ情報館（福島中央テレビ：毎週土曜日 20:54～20:57）』〉（24.8%）が2割台、〈インターネット『県ホームページ』〉（16.0%）、〈ラジオ『キビタンスマイル（ふくしま FM：毎週月～金曜日 17:30～17:35）』〉（13.3%）が1割台となっている。

一方、「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」を合わせた『満足していない』計の割合は、〈新聞『県政特集（福島民報・福島民友）』〉（17.0%）が最も多く、以下、〈広報誌『つながる 福島 ゆめだより』〉（16.0%）、〈テレビ『キビタン GO!（福島テレビ：毎週水曜日 20:54～20:58）』〉（10.7%）、〈インターネット：『県ホームページ』〉（10.7%）が1割台となっている。

。

#### (4) 県外に発信すべき内容

問4 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。  
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

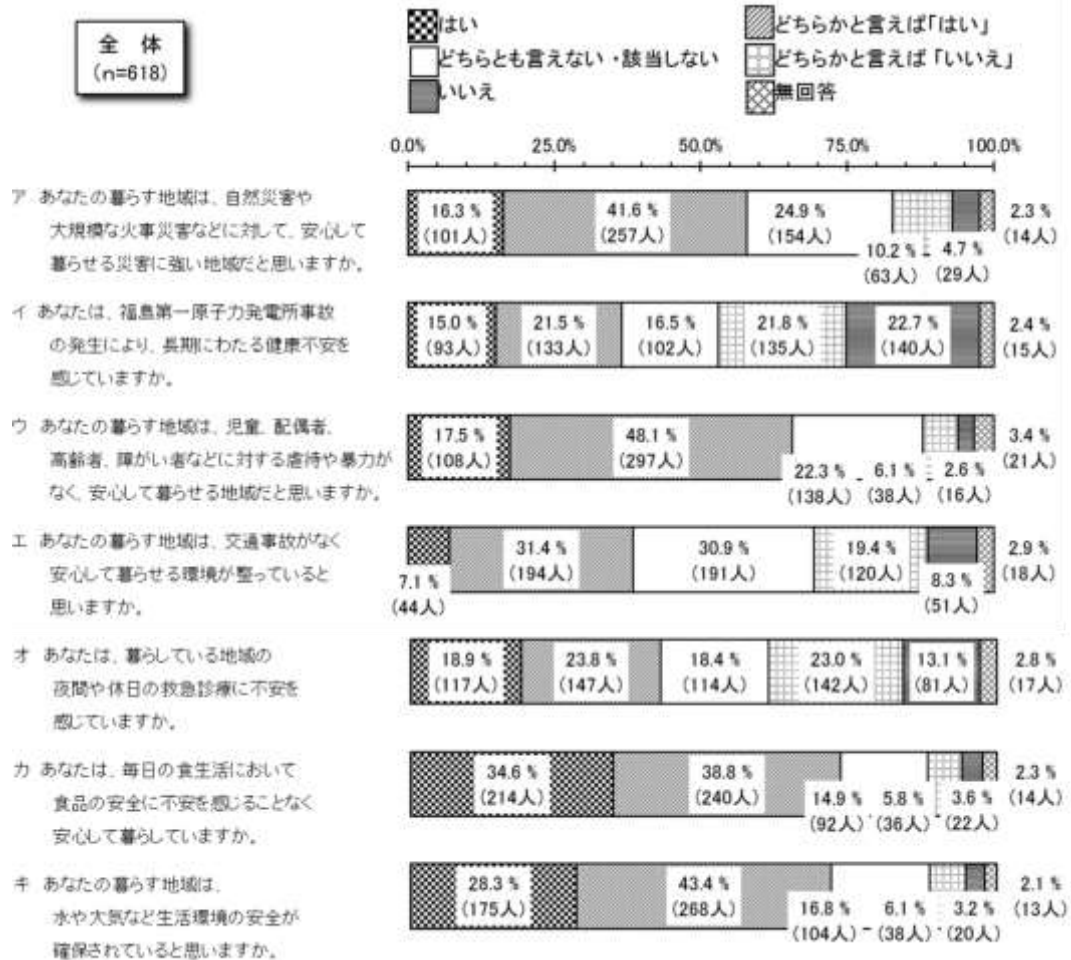


福島県の現状について、県外に伝えたいことは、「農産物や県産品の安全性」(68.9%)が最も多く、約7割となっている。次いで、「農産物や県産品の魅力」(43.0%)が4割台、「観光情報、来県の呼びかけ」(35.1%)が3割台となっている。以下、「震災後の応援に対する感謝の気持ち」(21.4%)、「震災の被害及び復旧・復興の状況」(20.1%)が2割台、「除染の進捗状況」(18.1%)、「県内外で開催される本県関係のイベント情報」(16.3%)、「復興に向けてがんばる県民の姿」(14.9%)、「放射線のモニタリング情報」(13.4%)、「再生可能エネルギーやロボット産業などにおける先進的な取組」(12.5%)、「被災者の生活状況、被災者の声」(10.8%)が1割台で続いている。

## 2. 安全で安心な県づくりについて

### (1) 安全・安心の現状

問5 次にあげたア～キの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。  
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。



「はい」と回答した人の割合をみると、〈カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉(34.6%)が最も高く、次いで、〈キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉(28.3%)、〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉(18.9%)となっている。

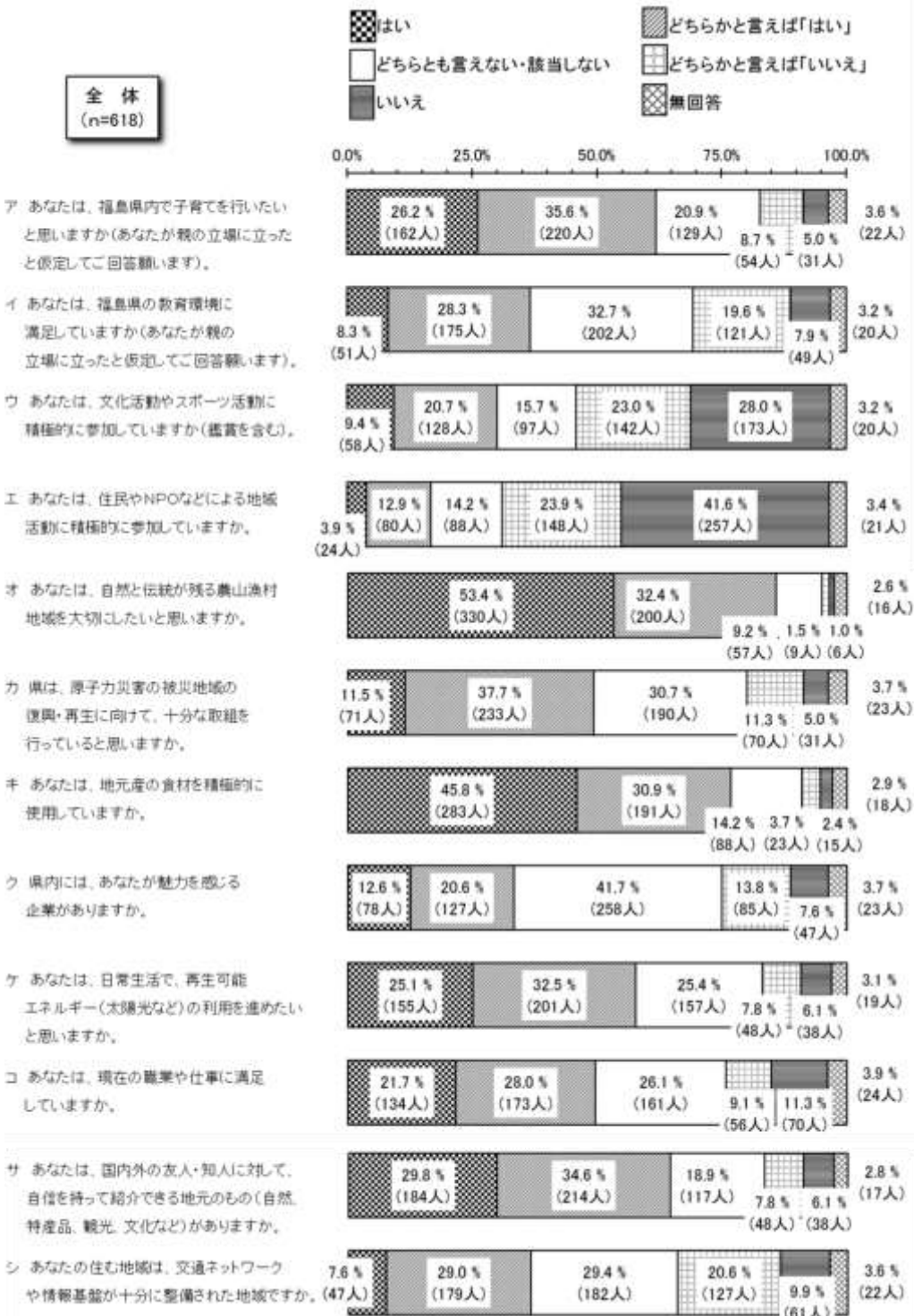
「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉(73.5%)が最も高く、次いで、〈キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉(71.7%)が7割台となっている。以下、〈ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思えますか。〉(65.5%)が6割台、〈ア あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思えますか。〉(57.9%)が5割台、〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉(42.7%)が4割台、〈エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思えますか。〉(38.5%)と〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉(36.6%)が3割台となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉(44.5%)が最も高く4割台、以下、〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉(36.1%)が3割台、〈エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思えますか。〉(27.7%)が2割台となっている。

### 3. 県総合計画について

#### (1) 福島県の現状

問6 次にあげたア～ネの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。





全体  
(n=618)



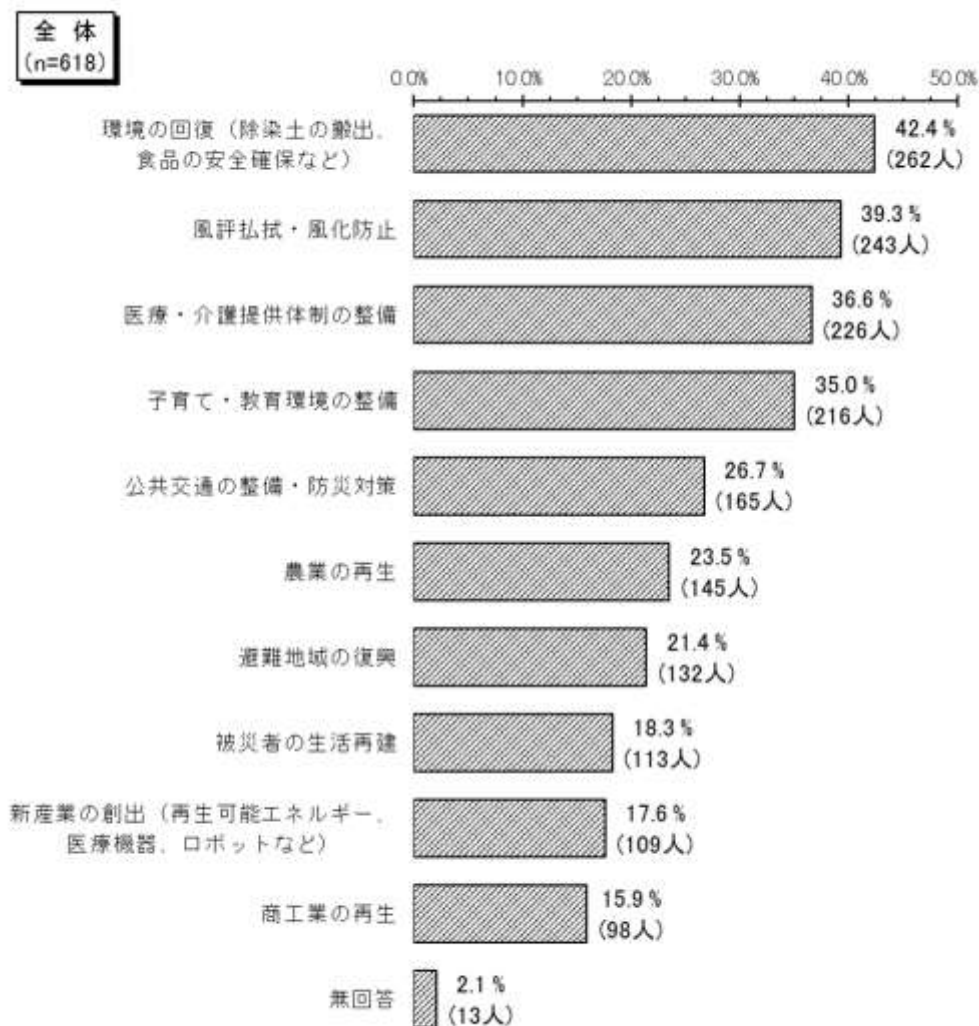
「はい」と回答した人の割合は、〈ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(55.7%)が最も高く、次いで、〈オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉(53.4%)と〈ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。〉(53.2%)が5割台で続いている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いますか。〉(85.8%)が最も高く、次いで、〈ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。〉(85.3%)が8割台となっている。以下、〈タ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。〉(78.0%)、〈ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。〉(77.2%)、〈キ あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。〉(76.7%)、〈セ あなたの住む地域は、身近なところで、必要な医療を受けることができる地域ですか。〉(74.8%)が7割台、〈ヌ あなたは、今住んでいる地域が住みやすいと思いますか。〉(69.3%)、〈ソ あなたの住む地域は、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができる地域ですか。〉(66.8%)、〈チ あなたの生活空間は、放射線から安心して暮らすことができる空間ですか。〉(66.0%)、〈サ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの(自然、特産品、観光、文化など)がありますか。〉(64.4%)、〈ア あなたは、福島県内で子育てを行いたいと思いますか(あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います)。〉(61.8%)、〈ト あなたは、日頃、人と人の支え合いや絆を実感していますか。〉(61.2%)が6割台となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈エ あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。〉(65.5%)が最も高く、6割台となっている。以下、〈ウ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか(鑑賞を含む)。〉(51.0%)が5割台、〈ツ あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。〉(41.7%)が4割台で続いている。

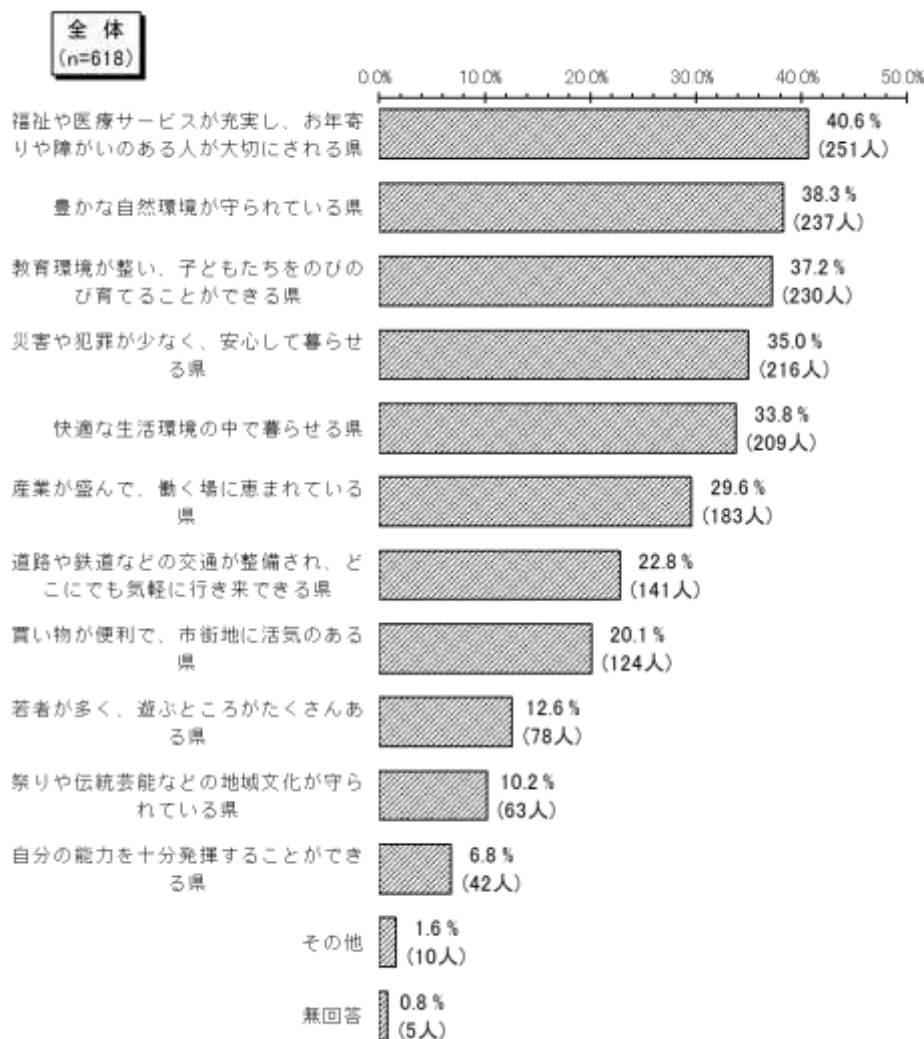
問6 ノ 福島県の復興に必要な取組は何だと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



福島県の復興に必要な取組は、「環境の回復 (除染土の搬出、食品の安全確保など)」(42.4%) が4割台で最も多く、次いで、「風評払拭・風化防止」(39.3%)、「医療・介護提供体制の整備」(36.6%)、「子育て・教育環境の整備」(35.0%) が3割台となっている。以下、「公共交通の整備・防災対策」(26.7%)、「農業の再生」(23.5%)、「避難地域の復興」(21.4%) が2割台が続いている。

問6 ハ これから福島県がどのような県になってほしいですか。  
あなたの考えに近いもの3つまで○をつけてください。



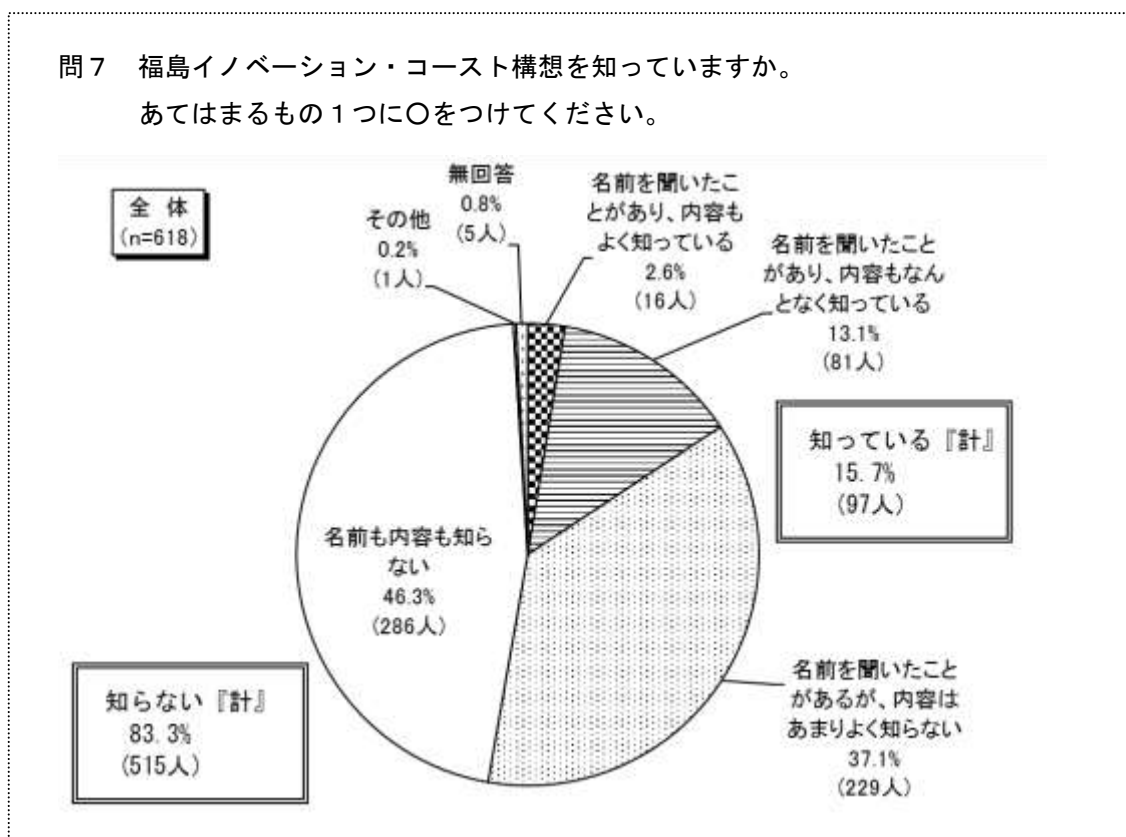
「福祉や医療サービスが充実し、お年寄りや障がいのある人が大切にされる県」(40.6%)が最も多く4割台となっている。次いで、「豊かな自然環境が守られている県」(38.3%)、「教育環境が整い、子どもたちをのびのび育てることができる県」(37.2%)、「災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる県」(35.0%)、「快適な生活環境の中で暮らせる県」(33.8%)が3割台となっている。以下、「産業が盛んで、働く場に恵まれている県」(29.6%)、「道路や鉄道などの交通が整備され、どこにでも気軽に行き来できる県」(22.8%)、「買い物で便利で、市街地に活気のある県」(20.1%)が2割台で続いている。

## 4. 福島イノベーション・コースト構想について

### (1) 福島イノベーション・コースト構想の認知状況

問7 福島イノベーション・コースト構想を知っていますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

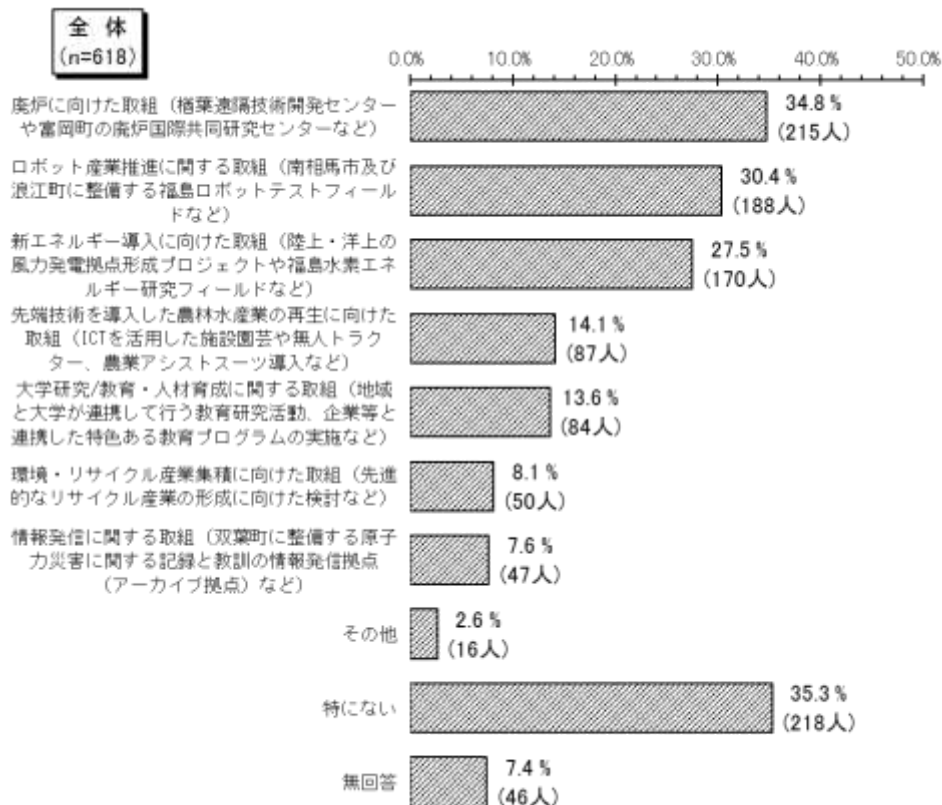


福島イノベーション・コースト構想の認知状況については、「名前も内容も知らない」(46.3%)、「名前を聞いたことがあるが、内容はあまりよく知らない」(37.1%)で『知らない』計が83.3%となっている。「名前を聞いたことがあり、内容もなんとなく知っている」(13.1%)、「名前を聞いたことがあり、内容もよく知っている」(2.6%)で『知っている』計が15.7%となっている。

## (2) 福島イノベーション・コースト構想について知っている取り組み

問8 福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか。

あてはまるものいくつかでも○をつけてください。(複数回答可)

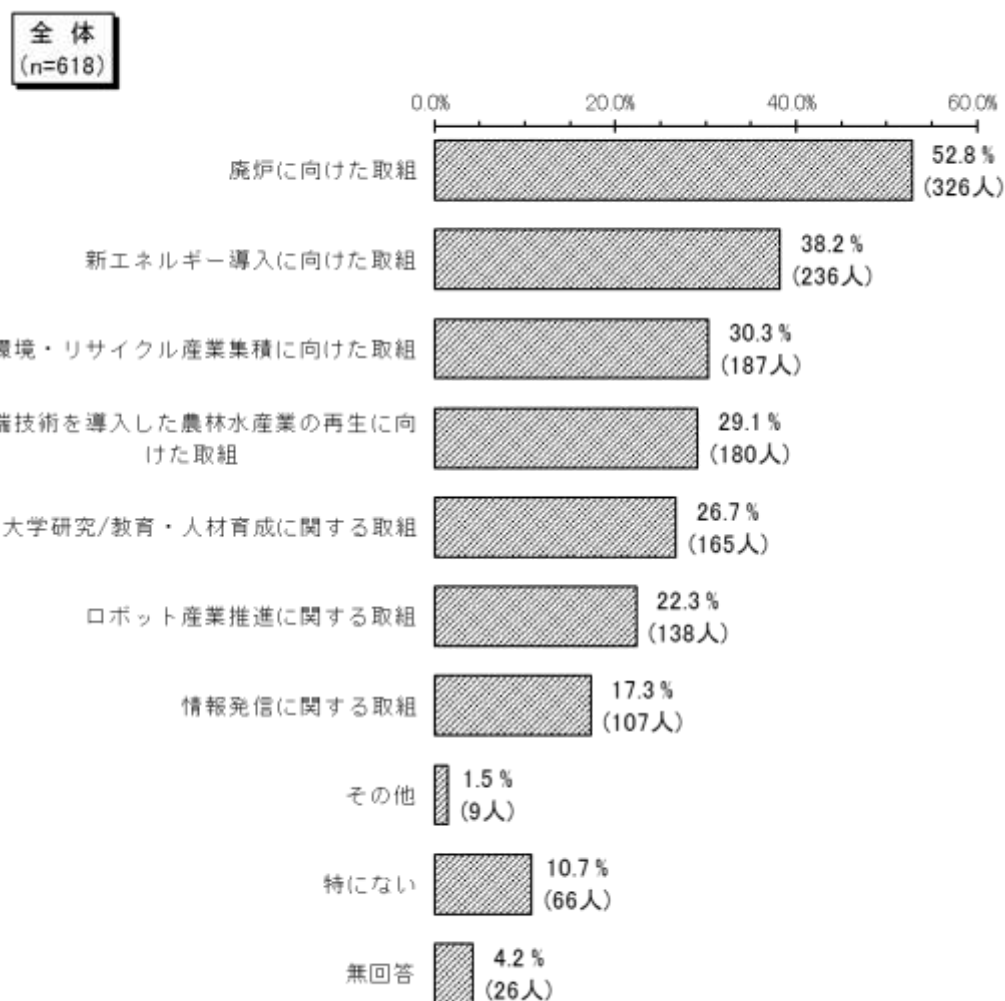


福島イノベーション・コースト構想について知っている取り組みは「廃炉に向けた取組 (楢葉遠隔技術開発センターや富岡町の廃炉国際共同研究センターなど)」(34.8%) が最も多く、次いで、「ロボット産業推進に関する取組 (南相馬市及び浪江町に整備する福島ロボットテストフィールドなど)」(30.4%) が3割台となっている。以下、「新エネルギー導入に向けた取組 (陸上・洋上の風力発電拠点形成プロジェクトや福島水素エネルギー研究フィールドなど)」(27.5%) が2割台、「先端技術を導入した農林水産業の再生に向けた取組 (ICT を活用した施設園芸や無人トラクター、農業アシストスーツ導入など)」(14.1%) と「大学研究/教育・人材育成に関する取組 (地域と大学が連携して行う教育研究活動、企業等と連携した特色ある教育プログラムの実施など)」(13.6%) が1割台で続いている。

### (3) 福島イノベーション・コースト構想を推進するため、県に強化してほしい取り組み

問9 今後、福島イノベーション・コースト構想を着実に推進し、県内全域の復興・創生にもつなげていくために、県はどのような取り組みを強化していけばよいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。



福島イノベーション・コースト構想を推進するため、県に強化してほしい取り組みについては、「廃炉に向けた取組」(52.8%)が最も多く、約5割となっている。以下、「新エネルギー導入に向けた取組」(38.2%)、「環境・リサイクル産業集積に向けた取組」(30.3%)が3割台、「先端技術を導入した農林水産業の再生に向けた取組」(29.1%)、「大学研究/教育・人材育成に関する取組」(26.7%)と「ロボット産業推進に関する取組」(22.3%)が2割台となっている。